

科目名		職業性中毒学演習	
科目責任者		上野 晋 (職業性中毒学 教授)	
開講時期:	2～3年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>日本産業衛生学会が勧告する産業化学物質の許容濃度設定をテーマに、その理論・考え方、情報収集の方法について学び、許容濃度が未設定の化学物質を例とする実際の起案作業演習を通して化学物質の毒性についての科学的評価を理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 許容濃度の意義について現状を踏まえて論じることができる。 2) 化学物質の化学的特性や用途などに関する収集することができる。 3) 化学物質の毒性に関する疫学研究の情報を収集することができる。 4) 化学物質の毒性に関する動物実験の情報を収集することができる。 5) 得られた情報から許容濃度設定の必要性を論じることができる。 6) 許容濃度設定の設定に向けた起案資料の作成手順を論じることができる。 7) 得られた情報をもとに起案資料のモデルを作成することができる。 			
● 評価方法	検討会でのプレゼンテーション内容40%、討議への参加度30%、課題レポート等30%等で総合評価する。		
● 参考文献	演習の中で必要に応じ紹介する。		